

【日時】平成18年11月22日(水) 19:00~20:45

【場所】下山支所2階会議室

【出席者】委員14名(欠席2名)

事務局 (支所長 副支所長 加藤 酒井 川合)

【次第】1 開会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員指名

4 前回会議録の承認

5 報告事項

(1) ワークショップのこれまでのまとめ

(2) 支所体制の見直し及び公共施設の有効活用について

6 協議事項

今後の地域会議の進め方

7 その他

(1) トヨタ研究開発施設計画について

(2) コミュニティ会議役員会との情報交換会

(3) 第7次総合計画基本構想素案及び観光基本計画素案に対する地域会議委員の意見聴衆の日程調整について

---

【内容】

1 会長あいさつ

2 会議録署名委員氏名

夏目委員を指名

3 前回会議録の承認

前はワークショップを中心に行い、今まで検討してきた地域課題解決のための計画を実行するための連携方法について、グループに分かれてグループ討議を行いました。前回のワークショップで一区切りということで、一つのとりまとめをしました。

(全委員承認)

4 報告事項

(1) ワークショップのこれまでのまとめ

今後、計画の実施にあたっては、考え実践する主体の役割を担う地区コミュニティ会議との情報を共有しながら、緊密な連携を図りながら下山地区のまちづくりの課題解決に取り組むとことになりす。

下山地区の地域課題としては、「地域の担い手不足と高齢化社会」・「若者世代の地域ばなれ」が重点課題ということでありました。そして誰が、どこで、どんな風に、どんな状態であるかという将

来ビジョンを描いていただき、それが「高齢者が楽しく生き生きと働いている地域」・「女性がもっと働きやすい暮らしやすい地域」・「若者が参画でき、リーダーが輩出できる組織が作られている地域」これが、下山地区の将来ビジョンであるということでもまとめていただきました。

今後の活動方針としては、将来ビジョンの達成に向け、地域会議、地区コミュニティ会議等それぞれの役割を理解し、認識したうえで、連携に向けた体制づくりを推進していかないといけないと思います。そして、地区コミュニティ会議を中心にして、将来ビジョンを想定した具体的計画の策定・実践活動を進めていくこととなります。

## (2) 支所体制の見直し及び公共施設の有効活用について

支所体制の見直しについては、合併協議において5年間激変緩和措置をするということで協議がされました。19年度に向けた支所体制の見直しについては、組織の分散配置により機能が低下したということで、今回遠隔地対応業務を全廃していくということでもあります。所管部による直轄化を促し機動力を発揮するということが今回の動きであります。しかし、それを進めるには住民サービスが低下しないようにしていかなければいけませんので、当然、窓口業務は残していくことになります。4担当制から2担当制に移行していくこととなります。そして、各支所の業務の役割を明確化にしていくこととなります。支所体制の見直しにつきましても、公共施設の有効活用についてもご理解を賜り19年度から新しい体制の下、住民のサービスの向上に努めていくこととなりますのでよろしくお願いします。

## 5. 今後の地域会議の進め方について

これから下山地区の課題解決に向けて、実践活動に入っていきることとなります。実践活動を行うにあたっては、コミュニティ会議と緊密な連携をとり情報を共有しながら取り組んでいくこととなります。今後情報交換会を開催し、組織の信頼関係を持って、互いが尊重しながら連携していくこととなります。

## 6 その他

### (1) トヨタ研究開発施設計画について

9月27日の地域会議報告後の状況を説明

### (2) コミュニティ会議役員会との情報交換会について

コミュニティ会議の役員会との情報交換会の日程について12月11日(月)か12日(火)の2案で、コミュニティ会議との日程調整を実施します。

### (3) 7次総合計画基本構想素案及び観光基本計画素案に対する地域会議委員の意見徴収の日程調整について

下山地域会議の意見徴収日程については、1月25日、2月1日、8日の第3希望までで調整し、日程が決まり次第、後日委員に報告します。